

12 糸魚川市文化財保存活用地域計画【新潟県】

【計画期間】令和6～10年度（5年間）

【面積】746.24km²

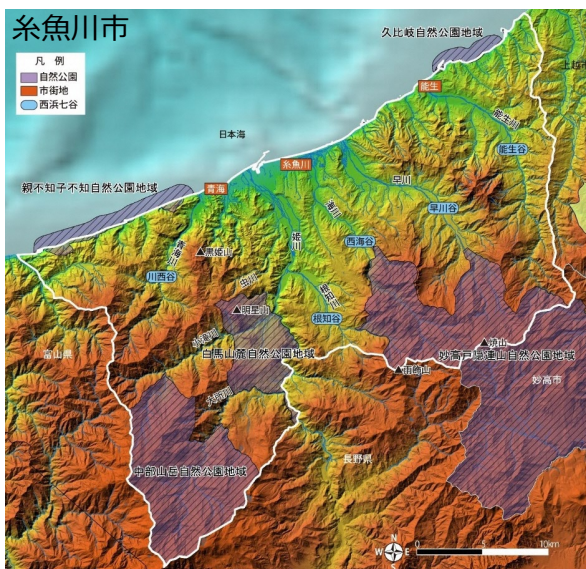
【人口】約4.0万人

【関連計画等】

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク
(ユネスコ世界ジオパーク、H21年)



糸魚川市



指定等文化財件数一覧

| 種別 | | 国 | 県 | 市 | 国登録 | 計 | |
|---------|-----------------------|------|----|-----|-----|-----|----|
| 有形文化財 | 建造物 | 3 | 0 | 6 | 11 | 20 | |
| | 美術工芸品 | 絵画 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | | 彫刻 | 2 | 7 | 30 | 0 | 39 |
| | | 工芸品 | 0 | 2 | 8 | 0 | 10 |
| | | 書跡 | 0 | 0 | 7 | 0 | 7 |
| | | 古文書 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| | | 考古資料 | 0 | 3 | 3 | 0 | 6 |
| | 歴史資料 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 | |
| 小計 | 5 | 12 | 72 | 11 | 100 | | |
| 無形文化財 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | 3 | 0 | 4 | 0 | 7 | |
| | 無形の民俗文化財 | 風俗慣習 | 2 | 0 | 3 | 0 | 5 |
| | | 民俗芸能 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 |
| 小計 | 6 | 0 | 9 | 0 | 15 | | |
| 記念物 | 遺跡(史跡) | 3 | 2 | 9 | 0 | 14 | |
| | 名勝地(名勝) | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 動物・植物・地質鉱物 (天然記念物) | 11 | 3 | 16 | 0 | 30 | |
| | 小計 | 15 | 6 | 25 | 0 | 46 | |
| 文化的景観 | | 0 | - | - | - | 0 | |
| 伝統的建造物群 | | 0 | - | - | - | 0 | |
| 合計 | | 26 | 18 | 106 | 11 | 161 | |

糸魚川市の歴史文化の特徴

自然環境・地理的環境、社会的状況、歴史的環境、そして指定・未指定文化財の特徴から、糸魚川市の歴史文化の特徴を以下のように整理した。

1 ジオパークのまち

糸魚川市は日本で最初のユネスコ世界ジオパークに認定され、日本列島を横断するフォッサマグナとその西端を画する糸魚川-静岡構造線など日本列島の生い立ちを物語る地質の多様性がある。この特徴ある大地に、私たちの祖先が独特で多様な文化を花開かせてきた。

2 世界最古級のヒスイ文化発祥の地

糸魚川市の大角地遺跡からは縄文時代前期(約6,500年前)のヒスイ製敲石が見つかり、長者ヶ原遺跡や寺地遺跡などでは、縄文時代中期(約5,000年前)にヒスイ製装飾品の加工が盛んとなった。その加工品は、日本各地や朝鮮半島へ広く流通した。

3 境界が作り出す歴史文化の交流の地

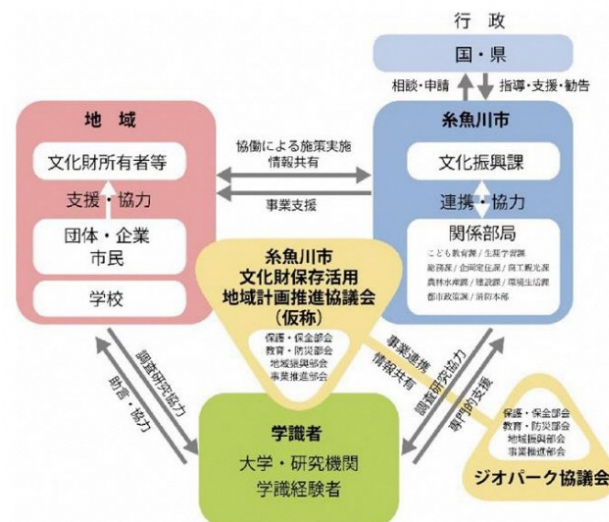
糸魚川市-静岡構造線が通り、東日本と西日本の境界に位置する糸魚川市は、様々な東西文化の混在地域となっている。越中、信濃との国境には城館が築かれ防備が固められる一方で、加賀街道と松本街道が交わり廻船業も盛んであった当地は、広域的な情報や文化が行き交った。

4 あらゆる災害を乗り越えてきたまち

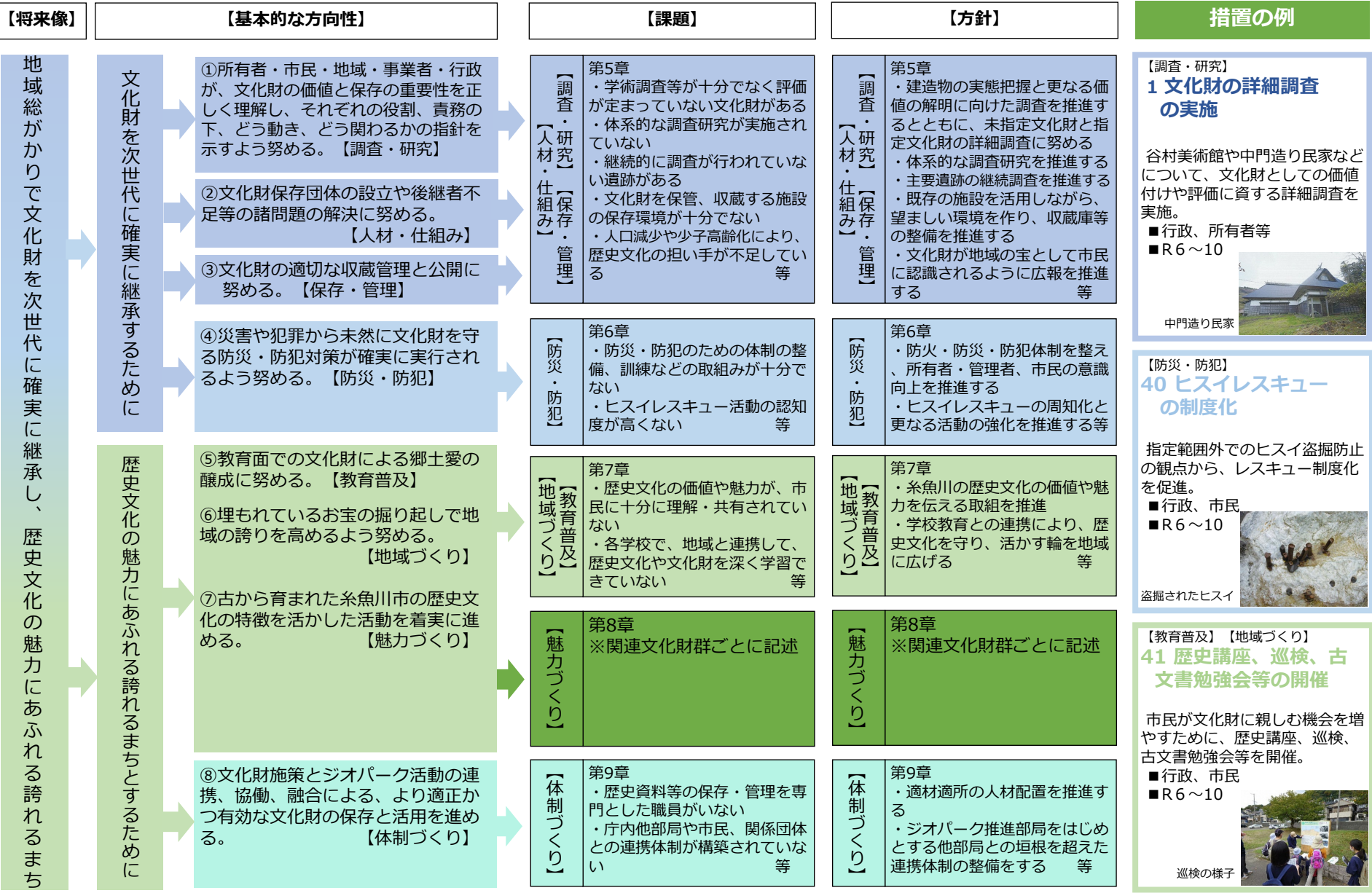
糸魚川市は自然環境が多様であるがゆえに、時には災害をもたらし、人命財産へも影響を及ぼした。先人は、それを克服しながら、育まれてきた多様な風俗慣習や伝統を後世に伝えてきた。

指定等文化財は、161件
未指定文化財は、1,344件把握





推進体制



文化財の保存・活用に関する将来像と基本的な方向性



歴史文化の特徴から生みだされた9つの関連文化財群のテーマ

| 【歴史文化の特徴】 | 【関連文化財群】 | | |
|-------------------------|--|---|--|
| <p>ジオパークのまち</p> | <p>(1)大地と人と - 大地の形成の歴史と人の営み -</p> | <p>糸魚川－静岡構造線を挟んで、西側は「西南日本」、東側は「東北日本」と呼ぶ。糸魚川の西南日本側には、古生代・中生代の地層や岩石が分布し、約5億年前のヒスイや、約3億年前の石灰岩からなる明星山、黒姫山などがある。</p> |  <p>白馬連山高山植物帯</p> |
| | <p>(2)大地と自然と - 急峻な地形が育んだ豊かな自然環境 -</p> | <p>水深約2,000mの海底から標高約3,000mの山々まで高低差5,000mの急峻な地形と豊かな自然。この特徴的な自然環境に多様な動植物が生息・生育する。</p> | |
| <p>世界最古級のヒスイ文化発祥の地</p> | <p>(3)ヒスイとその利用と - ヒスイ原産地と加工集団の拠点 -</p> | <p>日本随一のヒスイ産出地である当地では、縄文時代以来、道具としての利用に加え「玉（ぎょく）」への加工が盛んとなり、古墳時代までその加工遺跡が形成された。</p> |  <p>長者ヶ原遺跡出土ヒスイ</p> |
| | <p>(4)女神とヒスイと - 日本神話の女神と日本最大のヒスイ産地 -</p> | <p>『古事記』や『出雲国風土記』などに所縁のある伝説や伝承地が多く残され、当地域を治めたとされる奴奈川姫やヒスイについて語り継がれている。</p> | |
| <p>境界が作り出す歴史文化の交流の地</p> | <p>(5)越中信濃国境と城館と - 武家社会における軍事・経営拠点 -</p> | <p>本市は越中、信濃との国境を有する。中世以降、国境の防衛のため軍事的・政治的拠点として多くの城・館の整備が行われた。</p> |  <p>松本街道 ウトウ</p> |
| | <p>(6)交易と街道と - 交通発展から見る歴史と文化 -</p> | <p>近代化以前の物資流通は険阻な悪路を人の背や牛馬による運送に頼っていたものの、本市は陸と海の結節点でもあり、物資の集積や商いの発達によって、町は賑わいを見せた。</p> | |
| | <p>(7)山と海と - 人々の暮らしと信仰 -</p> | <p>本市には中世・近世からの伝統を引き継ぐ民俗芸能や年中行事あるいは民具等が大切に、今に伝わっている。</p> |  <p>能生白山神社舞楽</p> |
| | <p>(8)相馬御風の業績と地域文化の近代化</p> | <p>相馬御風は、在京の研究者との交流を続けながら、文芸活動に励み、短歌結社では広く市民と共に活動し、良寛研究でも多くの人々にその教養の裾野を広げることにつながった。</p> | |
| <p>あらゆる災害を乗り越えてきたまち</p> | <p>(9)引き継がれる災害の記録</p> | <p>先人は、多くの災害を克服してきており、その記録化もまた先人の努力で行われてきている。薄れゆく記憶と、忘れ去られた災害の事実を記録し、防災教育にいかす活動が取り組まれている。</p> | |

1. 概要

本市は、日本随一のヒスイ産出地であり、世界最古級のヒスイ文化発祥の地とも言われている。当地でのヒスイの加工は、縄文時代中期（約5,000年前）に盛んとなり、ヒスイの玉類（大珠）は長者ヶ原遺跡や寺地遺跡をはじめとしたヒスイ加工遺跡から列島各地に供給された。その後、ヒスイの加工は古墳時代中期（5世紀）まで継続された。

約6,500年前の敲石（ハンマー）の石材として、ヒスイの利用が始まったと考えられる。縄文時代以来、道具としての利用に加え、「玉（ぎょく）」への加工が盛んとなり、以後古墳時代まで、その加工遺跡が形成された。

本市がヒスイ産地であることから、原産地近くに立地する遺跡はヒスイ加工を裏付ける特徴的な出土品が豊富にある。

2. 構成する文化財

小滝川硬玉産地（国指定）、青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊（国指定）、寺地遺跡（国・市指定）、長者ヶ原遺跡（国指定）、大角地遺跡、笛吹田遺跡、六反田南遺跡、一の宮遺跡、後生山遺跡、大塚遺跡、前波遺跡、南押上遺跡、横マクリ遺跡、ヒスイ原産地立地遺跡出土品、須沢角地遺跡、西角地古窯跡、山崎A遺跡、前波南遺跡、館野遺跡、北平遺跡、新割遺跡、原山遺跡、寺地遺跡出土品（県指定）、田伏玉作遺跡出土品（県指定）、長者ヶ原出土遺物（市指定）、硬玉製大珠（市指定）、王朝国家期出土品（製塩土器・石銚・八稜鏡・木簡）

3. 保存・活用の課題

- ・ 史跡長者ヶ原遺跡・寺地遺跡の個別計画策定による、追加調査と適切な保存・活用が不十分。
- ・ 海岸のヒスイの転石について、市民や観光客に対する保護についての周知が不足している。

4. 保存・活用の方針

- ・ ヒスイ加工遺跡の追加調査を実施し、ヒスイ利用の実態の更なる解明を進める。
- ・ ヒスイの保護について、市民や観光客に対する周知を推進する。

5. 措置

65 史跡長者ヶ原遺跡の 保存活用計画策定

保存活用計画の策定を推進
■行政 ■R6

66 史跡寺地遺跡 保存活用計画の策定

保存活用計画の策定を推進
■行政 ■R8

59 持続可能な ヒスイ原産地の実現

保護のルールを明確化し周知
■行政、市民 ■R6～9



小滝川硬玉産地



上空から見た長者ヶ原遺跡